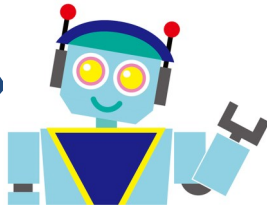


# 科学館ニュース



DENZA環境科学館

検索

(☎0143-22-1058)

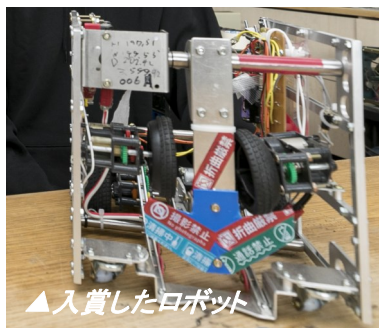


▲活動中の科学クラブ員

新年度の『科学クラブ』と『ロボットサッカークラブ』のクラブ員を募集します。

科学クラブは、小、中、高校の現職の先生を講師に迎え、科学やものづくりの楽しさを伝える講座を行っています。

ロボットサッカークラブは、毎年1月に室工大で開催される『ロボットサッカーコンテスト』に参加することを目的に活動しています。ロボットづくりをはじめ、ロボットを動かすプログラミングや操作方法などを学びます。

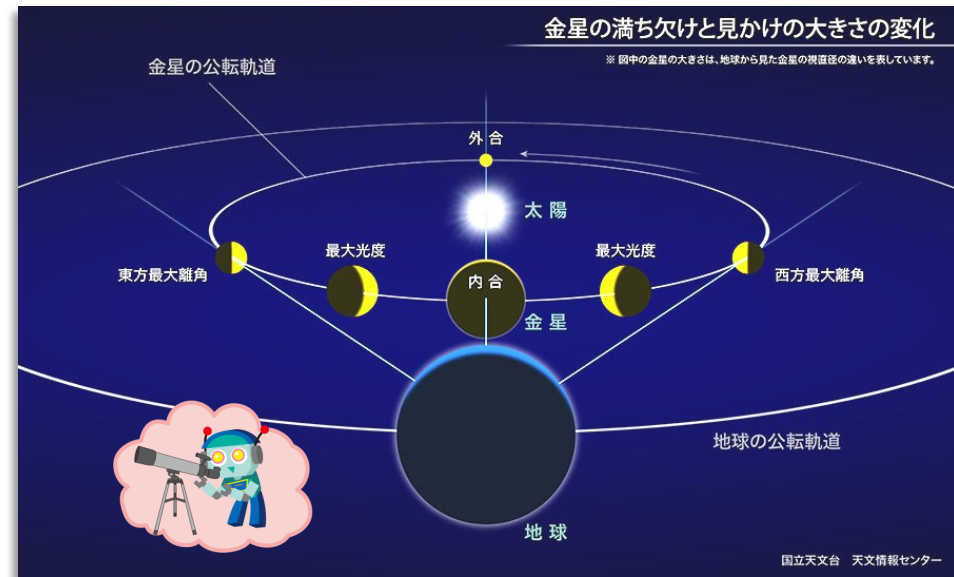


▲入賞したロボット

クラブ名	2023年度 募集要項	
科学クラブ	対象	新小学4年生～6年生
	申込期間	4月8日(土)～4月16日(日)
	申込方法	申込書に記入のうえ受講料等を添えて申し込み
	受講料	年6,000円
	講座回数	年19回(予定、活動時間:各回10:15～12:00)
募集人数 4年生:20人 5年生:10人 6年生:6人	活動期間	5、6年生:2023年5月13日～2024年2月17日の土曜日 4年生:2023年5月14日～2024年2月18日の日曜日
	活動内容	毎月の実験に参加するほか、自由研究に参加することができます。
ロボットサッカークラブ	対象	新小学4年生～新中学1年生(体験教室参加者)
	申込期間	4月9日(日)～4月16日(日)
	申込方法	申込書に記入のうえ受講料を添えて申し込み
	受講料	年6,000円(開講後に別途教材費として3,000円程度)
	講座回数	年間約30回(各回:13時から3時間程度)
募集人数: 3人程度	活動期間	5、6年生:2023年5月13日～2024年1月20日の土曜日 4年・中1年生:2023年5月14日～2024年1月21日の日曜日
	活動内容	ロボットの製作をはじめ、発明くふう作品展の作品作り、室工大ロボットサッカーコンテストの参加など。

※1各クラブとも受講料・教材費の納入でクラブ員登録が完了します。  
 ※2申込用紙は科学館受付またはホームページからダウンロードできます。

## 観察しよう! 金星の動き



金星を望遠鏡でのぞくと、月と同じように満ち欠けしているのがわかります。月は三日月から半月を経て満月になるにしたがい、少しずつ明るくなりますが、金星は三日月のように大きく欠けた時がもっとも明るく見えます。それを『最大光度』といいます。

今年の金星の最大光度は2回あり、7月7日は西の空で宵の明星として、9月19日は東の空で明けの明星として、それぞれかなり明るく見えます。今後の金星は下表のように動きます。

### ★今後の金星の動き

惑星現象	月日	説明
惑星現象		
とうほうさいだりかく 東方最大離角	6月4日	金星が見かけ上太陽の東側へもっとも離れ、このころ夕方の西の空で見やす
さいだいこうど 最大光度	7月7日	金星が夕方の西の空でもっとも明るく見え、このときの光度はマイナス4.7
りゅう 留	7月21日 9月3日	惑星の運動方向(順行・逆行)が変わる時期で、動きが止まっているようにみ
ないごう 内合	8月12日	地球・金星・太陽が一直線に並ぶ。金星の見かけの位置が太陽に近く観察
さいだいこうど 最大光度	9月19日	金星が日の出前の東の空でもっとも明るく見え、このときの光度はマイナス4.8
せいほうさいだりかく 西方最大離角	10月24日	金星が見かけ上太陽の西側へもっとも離れ、このころ明け方の東の空で見や

夕空に明るい星が見えます。『宵の明星』と呼ばれる金星です。

今年の金星は、3年ぶりに高度が40度を超え、8月の一時期を除き、秋に『明けの明星』になるまで観察しやすさが続きます。



▲カムイヌプリ上空の金星と三日月



開催日	プログラム
1、2日(土、日)	未来のエネルギー
8、9日(土、日)	アンモニア噴水
15、16日(土、日)	スライム作り
18～21日(火～金)	科学技術週間協賛行事 登るこいのぼり作り
22、23日(土、日)	科学技術週間協賛行事 アンモニア噴水
29日(祝・土)	液体窒素実験
30日(日)	水素実験
▼4月のファミリー・サイエンス	
12、26日(水)	ヘリコプター作り

※新型コロナウイルスの感染状況により内容等が変更になる場合があります。開催時間などくわしくは、当館ホームページをご覧ください。